Multi Pro® 5800および5800-Gターフスプレーヤー

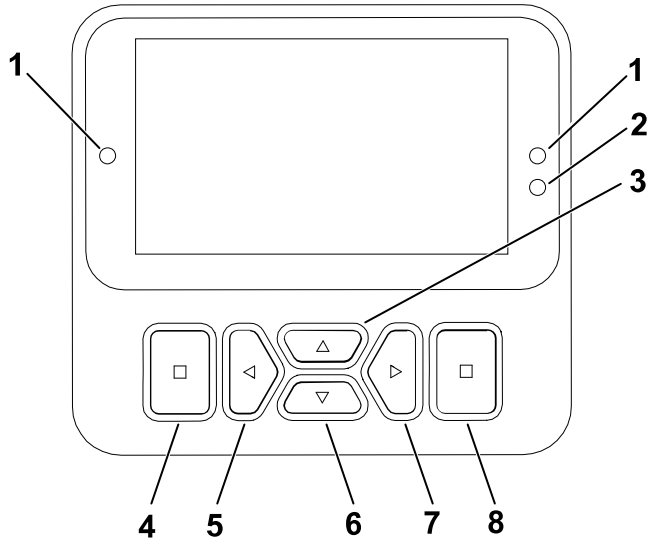
モデル番号 41394—419000000 およびそれ以上

モデル番号 41394GK—419000000 およびそれ以上

ソフトウェアガイド

インフォセンターディスプレイの概要

インフォセンターディスプレイには、マシンの動作ステータス、さまざまな診断、その他の情報など、マシンに関する情報が表示されます。ディスプレイには複数の画面があります。戻るボタンを押してから上下の方向ボタンを使うと、いつでも画面を切り替えることができます。



G471371s

1. インジケータランプ
2. ディスプレイ輝度センサー
3. ナビゲーション ボタン - 上
4. 戻るボタン
5. ナビゲーション ボタン - 減少/左
6. ナビゲーション ボタン - 下
7. ナビゲーション ボタン - 増加/右
8. 入力ボタン

注□ 各ボタンの機能はメニューの内容によって、変わります。各ボタンについて、その時の機能がアイコンで表示されます。

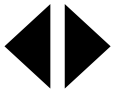
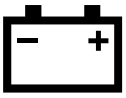
© 2026—The Toro® Company
8111 Lyndale Ave So
Bloomington, MN 55044

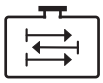
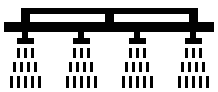
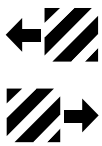
登録場所
www.Toro.com

Original Instructions (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3479-971

表示アイコン

	メニュー
	ロック
	上下にスクロール
	左/右にスクロール
	前の画面へ
	値を減らす
	値を増やす
	受け入れる
	保存
PIN	PINパスコード
	終了□デフォルト□メニュ
	バッテリー電圧
	駐車ブレーキが掛かっている。
	席に座る。
	アワーメータ

	タンクが空です (容量が10%未満)
	タンクインジケーターをすすぐ
	撹拌インジケーター
	すすぎと撹拌インジケーター
	低タンクインジケーターこれら2つのアイコンの中央にタンクのアイコンが表示されます。
±1	タンク容量を1ガロン増やす
±10	タンク容量を10ガロン増やす
±25	タンク容量を25リットル増やす
	ブームがオフ
	ブームがアクティブ
	全エリアをクリア
	アクティブなエリアをクリア
	散布済み面積
	全エリア画面
	スプレイヤーエリアに移動する

メニューの概要

インフォセンターのメニューシステムにアクセスするには、メニュー画面が表示されているときにバックボタンを押します。ボタンを押すとメインメニューが表示されます。各メニューにおいてどのような内容が表示されるかは、以下の表をご覧ください。

🔒保護メニューで保護 - PINを入力することによってのみアクセスが可能

メインメニュー

メニュー**項目**	**記述称**
レートを設定する	プリセットとブースト レートを設定する。
設定	ディスプレイ構成変数をカスタマイズおよび変更する。
マシンの設定	マシン変数を構成する。
較正🔒	フローメータと速度センサーの較正を支援する。
整備	使用時間やマシンの故障などのマシンに関する情報を含める。
診断機能	各マシンのスイッチ、センサー、制御出力の状態を表示する。これを使うと、どのマシン制御がオンでどの制御がオフであるかがすぐに分かるため、特定の問題のトラブルシューティングに使用できます。
マシンについて	モデル番号、シリアル番号、ソフトウェアのバージョンなどを確認することができます。

レートを**設定**する

メニュー**項目**	**記述称**
アクティブレート	現在使われているレートを表示する。
レート 1	プリセットレートを設定する。
レート 2	プリセットレートを設定する。
ブースト	アクティブレートに追加するパーセンテージを設定する。

設定

メニュー**項目**	**記述称**
PIN を入力	会社によってPINコードを許可された人 (監督者/メカニック) に、保護されたメニューへのアクセスを許可します。
保護設定 🔒	保護設定の内容を変更することができます。.
デフォルトにリセットする🔒	デフォルト値をリセットする。
Backlight	LCD画面の明るさを調整します。

設定 □続き□

メニュー項目	記述称
言語	ディスプレイで使用される言語を制御する。
表示単位	画面で使う単位□ヤードポンド法、ターフ、またはメートル法□を選択できます。

マシンの設定

メニュー項目	記述称
タンク	タンク容量、タンク残量低下アラート、プリセット攪拌値を設定する。
Booms	ブームの幅を調整する。
Geolink	衛星ナビゲーションのオプション。
リセット	マシンの値をリセットする。

Calibration□キャリブレーション□

メニュー項目	記述称
流量の基本設定	フローメータのキャリブレーションを行う。
速度の基本設定	速度センサーのキャリブレーションを行う。
Test Speed	キャリブレーション用のテスト速度を設定する。
手動較正入力	手動で較正を入力する。
デフォルトの流量校正を使いますか?	流量のキャリブレーションをデフォルトに戻す□実測値ではなく□。
デフォルトの速度校正を使いますか?	速度のキャリブレーションをデフォルトに戻す□実測値ではなく□。

整備

メニュー項目	記述称
時間	マシン、エンジン、リール、およびPTOが使用されていた時間およびマシンが移動走行していた時間と定期整備までの時間が記録されており、これらを確認することができます。
流量🔒	現在の流量を表示。

診断機能

メニュー項目	記述称
Pumps	ポンプ関係の入力、一時すすぎ、定時すすぎへアクセスする。
Booms	ブーム関係の入力出力設定へアクセスする。

メニュー**項目**	**記述称**
Engine Run	エンジン作動関係の入力および出力設定へアクセスする。
不具合	最新のマシンの障害を表示する。詳細については、サービスマニュアルを参照するか、Toro認定代理店に問い合わせる。

マシンについて

メニュー**項目**	**記述称**
モデル	マシンのモデル番号を表示する。
SN	マシンのシリアル番号を表示する。
ソフトウェア改訂	プライマリーコントローラのソフトウェア改訂番号を表示します。
XDM-4400🔒	インフォセンターのソフトウェアの改訂番号を表示します。
CAN統計🔒	CANバスを一覧表示

保護項目

ディスプレイの**設定**内で調整できる項目があります。これらの設定をロックするには、**保護**されたメニューを使います。

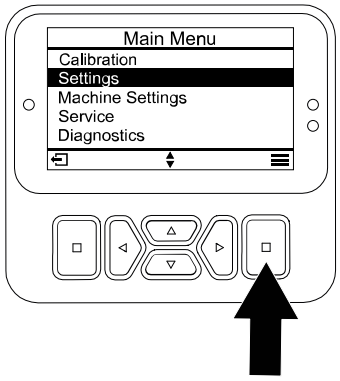
注□ 納品時のパスワードは、代理店にて設定しています。

アクセス**制限付**きメニューへのアクセス

注□ 出荷時に設定されている デフォルト PIN は `0000` または `1234`.

PIN を変更後、PIN を忘れてしまった場合には、Toro代理店にご相談ください。

1. メイン メニューから**設定**まで下にスクロールし、選択ボタンを押します。

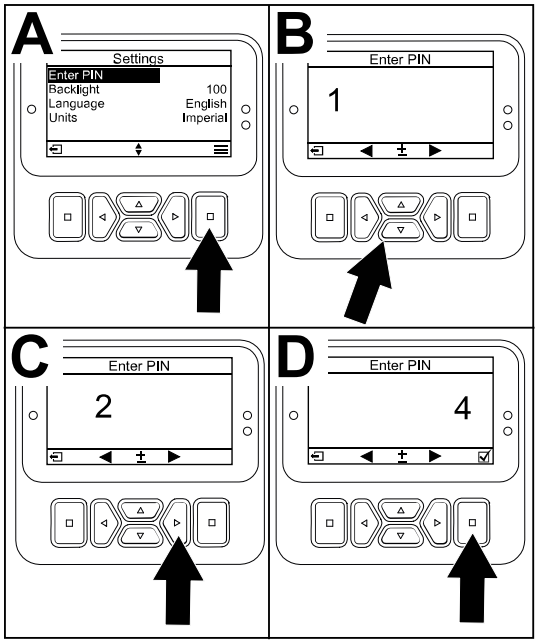


G510565

アクセス**制限付**きメニューへのアクセス □**続き**□

2. **設定**で、**PIN** を**入力**までスクロールし、選択ボタン Ⓐを押します。
3. PINコードを入力するには、正しい最初の桁が表示されるまで上下のナビゲーション ボタンⒷを押し、次に右のナビゲーション ボタンⒸを押して次の桁に進みます。最後の桁が入力されるまでこの手順を繰り返します。
4. 選択ボタンを押します Ⓓ.。

   注□ ディスプレイがPINコードを受け入れ、保護されたメニューのロックが解除されると □PIN??□ という単語が画面の右上隅に表示されます。
5. 保護されたメニューをロックするには、キースイッチをオフの位置に回してからオンの位置に回します。



G510564

「パスワード**保護メニュー**」を**閲覧・設定変更**するには

1. **設定**で、**設定**の**保護**まで下にスクロールします。
2. PINコードを入力せずに設定を確認・変更するには、セレクトボタンでプロテクト**設定**を ☐ □Off□に変更します。
3. PIN コードを入力しないとプロテクト**設定**を閲覧・設定変更できないようにするには、セレクトボタンで設定を ☑ □On□に変更し、PIN コードを設定し、エンジン始動キーをOFF にしてからもう一度 ON にしてください。

タンク**残量警報**の**設定方法**

1. マシン**設定**を選択する。
2. タンクを選択する。
3. タンクリミットを選択する。
4. スプレイヤーの動作中に警告が表示された場合は、方向ボタンを使ってタンク内の最小量を入力する。

ブームサイズの**設定**

1. マシン**設定**を選択する。
2. ブームを選択する。
3. 更新したいブームを選択する。
4. 方向ボタンを使って、ブームのサイズを2.5 cm単位で変更する。

デフォルト**設定**に**戻**す

1. マシン**設定**を選択する。
2. デフォルトにリセットを選択する。

タンク**液量**の**設定方法**

注□ ボリュームを変更するとタンクアラートがリセットされます。

1. マシン**設定**を選択する。
2. タンクを選択する。
3. **容量**を選択する。
4. ボタンを押してタンクボリュームを増減します。
   A. 上/下の方向ボタン②を押して、±10 (米国単位の場合) または ±25 (メートル単位の場合) にジャンプします。
   B. 左右の方向ボタン①を押すと、ボリュームが1段階ずつ変わります。

プリセット**攪拌値**の**設定**

投下水量専用

注□ 投下水量モードで全部のブームがOFFになった時は、スプレーヤのポンプの速度は、事前設定された攪拌設定を使用して制御されます。スプレーヤのポンプのパーセンテージは事前設定された設定でコントロールされる。デフォルトの事前設定値は 40%

1. 散布する予定の目標スプレーヤー圧力を特定する。

   例□2.76 bar (40 psi)。ダッシュボード上の水圧計に表示されている水圧の値を記録する。

散布水
圧□

---

2. 以下の式を使って初期撹拌設定圧力を計算する。

   スプレーヤー作動圧力×1.5□2.0□初期撹拌設定圧力。

   例: 目標スプレーヤー圧力 2.76 bar (40 psi) x 1.5 = 初期撹拌設定圧力 4.1 (60 psi)

   例: 目標スプレーヤー圧力 2.76 bar (40 psi) x 2.0 = 初期撹拌設定圧力 5.5 (80 psi)

計算結果をここに
記録□

---

3. マスター セクション スイッチをオフの位置にし、エンジン スロットルをマシンを稼働させる予定のエンジン速度に設定して、スプレーヤーシステムの圧力が特定された目標スプレーヤー圧力の1.5□2.0倍になるまで、撹拌設定値を調整する。

   例えば、2.76 bar (40 psi) で散布をする予定なら、攪拌用の設定水圧が 4.1 - 5.5 bar (60 - 80 psi) になるように設定する。

   注□ この攪拌状態でタンク内の液剤が泡立ちすぎる場合には、泡立ち具合を観察しながら攪拌設定水圧を適当に下げてください。

4. **攪拌**オプションに移動して選択する。
5. ダッシュボードに取り付けられたスプレーヤー圧力ゲージを確認しながら、スプレーヤー圧力が上記で計算した初期撹拌設定圧力になるまで、ボタンを押して設定値を上げたり下げたりする。

   注□ ただし、システム水圧5.86 bar (85 psi□ を超えないでください。

   注□ タンク内の薬剤が泡立たなければ、攪拌水圧を上げてもかまいません。攪拌するとタンク内の薬剤が泡立つようであれば、攪拌水圧を下げてかまいません。
6. 設定を保存し、タンク画面を終了して、**設定**画面に戻る。

合計エリア画面とサブエリア画面

これらの画面は次のものを表示します□

- 散水面積 (エーカー、ヘクタール、または 1000平方フィート)
- 散水総量□米国ガロンまたはリットル□

総面積と総散水量の数値は、リセットするまで積算され続けます。

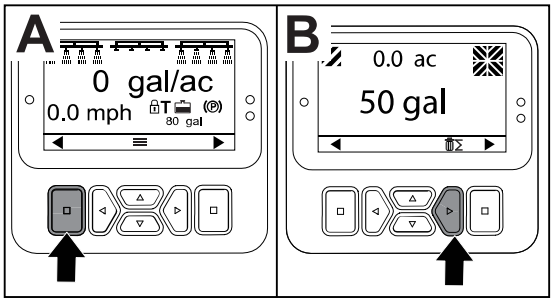
施設の散水タスクごとに各サブエリアを設定しておくと便利です。サブエリアは20個まで設定できます。

注□ 散水を開始する前に、作業予定のサブエリアに移動していることを確認してください。画面に表示されるサブエリアは、カバレッジされるアクティブなサブエリアです。

総エリアとボリュームデータのリセット

1. 戻るボタンを押して、総エリア画面に移動する。
2. 右ボタンを押して総エリアデータをリセットする。

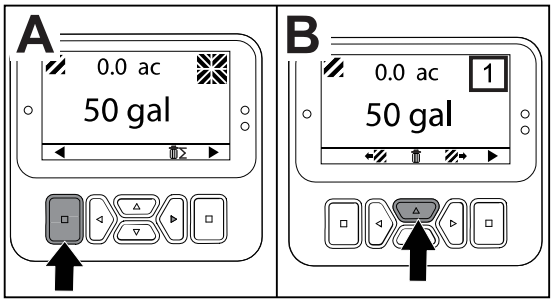
   注□ 総エリア画面で総エリアおよび総ボリューム情報をリセットすると、サブエリアごとのデータが**全**てリセットされます。



G511618

サブエリアとボリュームデータのリセット

1. 戻るボタンを押して、サブエリア画面に移動する。
2. 上ボタンを押してサブエリアデータをリセットする



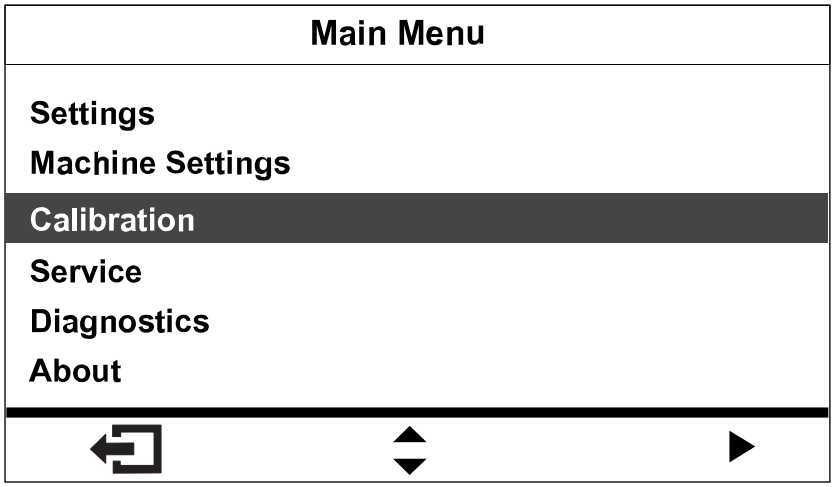
G511619

スプレーヤのキャリブレーション□設定の補正□

注□ 手動モード操作用にスプレーヤーを構成するには、マシンのオペレーターズマニュアルを参照してください。

1. 液剤タンクがきれいであることを確認する□オペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗浄」を参照。
2. キャリブレーションメニューに移動する。

   注□ この画面では、フローメータの入力キャリブレーション、速度センサーの入力キャリブレーション、速度テストの実施、キャリブレーションデータの手動入力ができます。



G580702

流量のキャリブレーション

用意するもの□ノズルの流量によって以下の精度の目盛付き容器を用意する□

- 1.5 Lpm (0.4 gpm) 以下 - 10 ml単位の目盛りが付いた容器が推奨されます。
- 1.9 Lpm (0.5 gpm) 以下 - 20 ml単位の目盛りが付いた容器。

重要

全部のノズルを**交換**するごと、**散布用**のアクティブ□**下向**きの□ノズルを**変更**するごと、フローメータを**交換**または**洗浄**したときは、**3 本**のブームのキャリブレーションを**行う。摩耗**したノズル**数個**を**交換**した**場合**にも、この **3** ブームキャリブレーションを**行**うことが**必要。**

注□ このキャリブレーションを正確に行うためには、キャッチテストを正確に行うことが必要です。各段階での不正確さが重なると、薬剤の撒きすぎや撒き足らずという結果になります。

適切な目盛り付き容器を使って流量較正を実行する。

流量キャリブレーションタイプの評価

最もよく行うタイプの液剤散布はどれかをブーム表で探し出し、それに最も適した流量キャリブレーションを選択します。

注□ 流量のキャリブレーションは 3 タイプあります□

ブーム表

	3ブームキャリブレーションを**行**う	
スプレーヤのブーム数は 3	Yes	
ブーム **2 本**で**散布**する**時**もある□	**2**ブームキャリブレーションを**行**う	
左と中央のブーム□または□	はい	いいえ
右と中央のブーム□または□	Yes	いいえ
左右のブーム	Yes	No
ブーム **1 本**で**散布**する**時**もある□	**1** ブームキャリブレーションを**行**う	
左ブームしか使わない□または□	Yes	No
中央ブームしか使わない□または□	Yes	No
右ブームしか使わない	Yes	No

3 ブームキャリブレーション□流量範囲の異なるノズルに変更した場合には必ずこの 3 ブームキャリブレーションを行います。

注□ 2 ブームキャリブレーションや 1 ブームキャリブレーションを行わずに 2 ブームや 1 ブームでの散布を行った場合には、3 ブームキャリブレーションの値を使用して制御が行われます。

2 ブームキャリブレーション□オプション□□ブーム2本のみで散布することが多い場合に、使用するブーム□左ブームとセンターブームのみ□右ブームとセンターブームのみ□左右のブームのみ□の組だけのキャリブレーションを行います。この 2 ブームキャリブレーションは、3 ブームキャリブレーションを行った後に行います。

注□ 2スプレーヤーセクションに対して実行する較正は、2スプレーヤーセクションの任意の組み合わせで散水するたびに使われます。

注□ この 2 ブームキャリブレーションは、特定の1組のブームに対してのみ行うことが可能です。ですから一番使用頻度の高いブーム 2 本を使用して行ってください。スプレーヤーシステムは、左と中央、または右と中央のセクションの組み合わせで散水する場合に2ブーム計算を使います。

オプション**1-**ブームキャリブレーション□通常1つのスプレーヤーセクションでスプレーする場合は、左、中央、または右のスプレーヤーセクションを構成します。このキャリブレーションは任意であり、3 ブームキャリブレーションと 2 ブームキャリブレーションを行った後に行います。

注□ この 1 ブームキャリブレーションは、3本のブームのうち特定の1本のブームに対してのみ行うことが可能です。ですから、一番使用頻度の高いブームで行ってください。センターブーム、左右ブームを問わず、1ブームだけでの散布が行われるときには、1 ブームキャリブレーションの値が使用されます。

散水パターンに基づいて、どのキャリブレーションタイプを実行するかを評価してください。

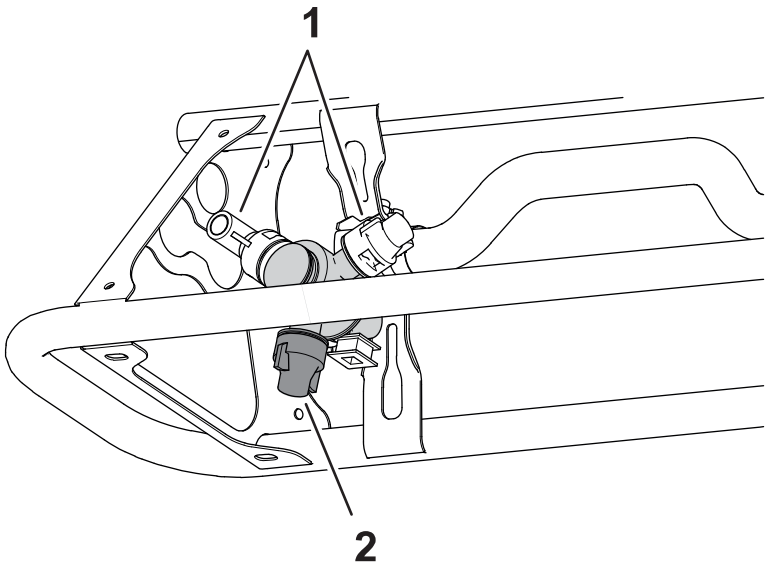
流量テストの準備

1. 使おうとしているノズルがアクティブ スプレー (下) 位置にあるようにします。

重要

使用するノズルはすべて**同じ色**のものでなければならない。

注□ また、それらのノズルがすべて同程度の摩耗状態であることが最も望ましい。

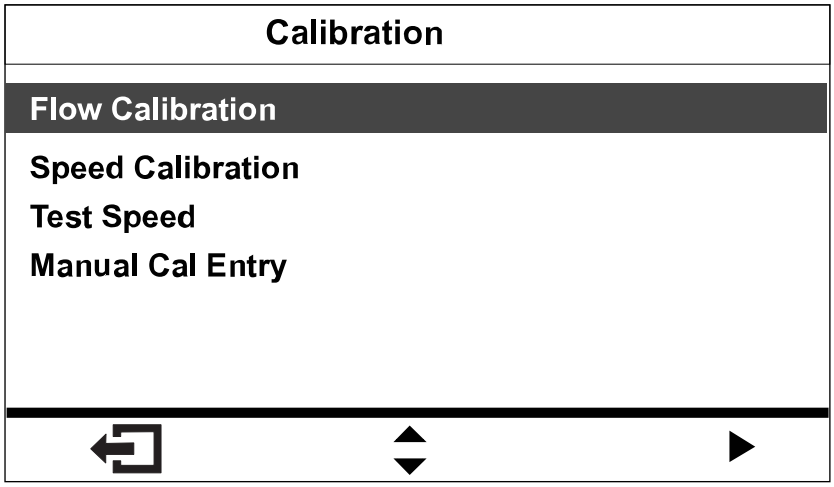


G192604s

① ノズル不使用位置

② ノズル使用□アクティブ□位置

2. キャリブレーションメニューに移動する。
3. **流量**キャリブレーションオプションを選択する。

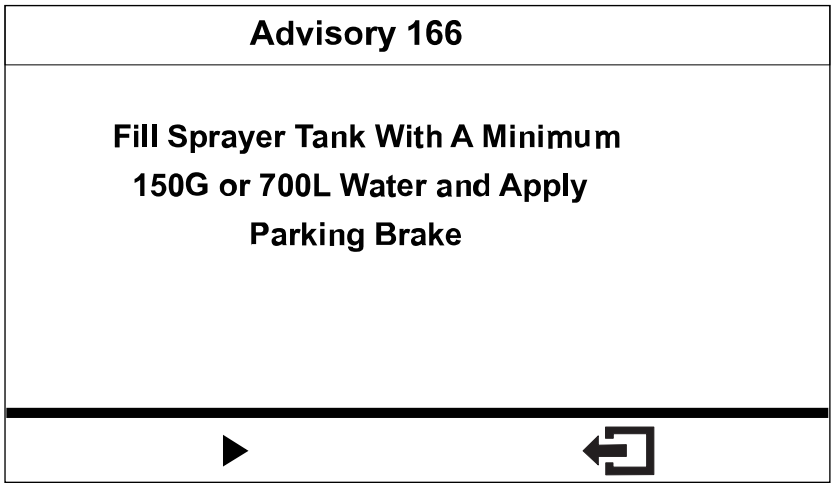


GG580549

4. スプレーヤータンクに水を半分□700 L□入れる。

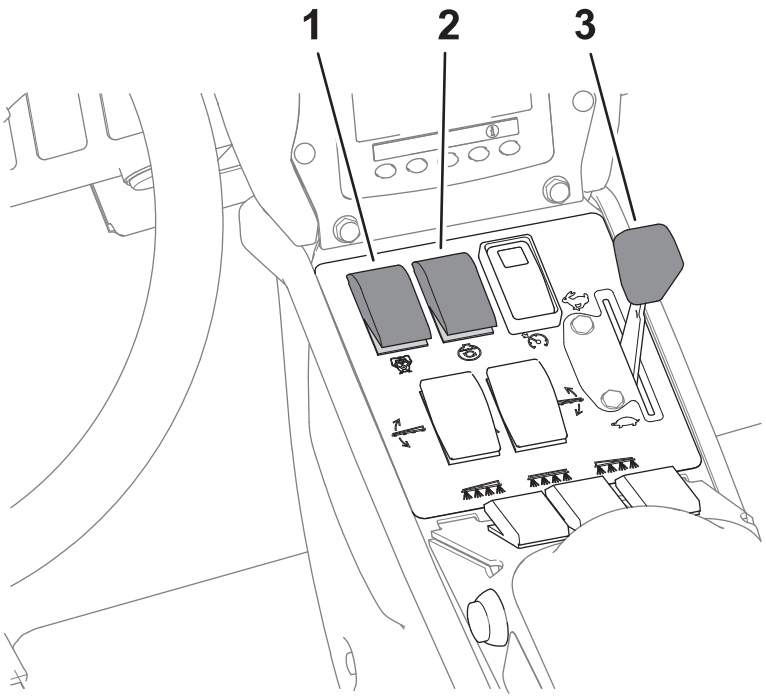
   注□ 流量キャリブレーションをキャンセルできます。キャンセルすると、キャンセルされましたという確認表示が出ます。

5. 駐車ブレーキを掛ける。



GG580550

6. エンジンを掛け、左右のブームを降下させる。
7. ポンプスイッチを ON 位置にする。



G192636s

(1) 散布ポンプスイッチ
(2) 撹拌スイッチ
(3) スロットル

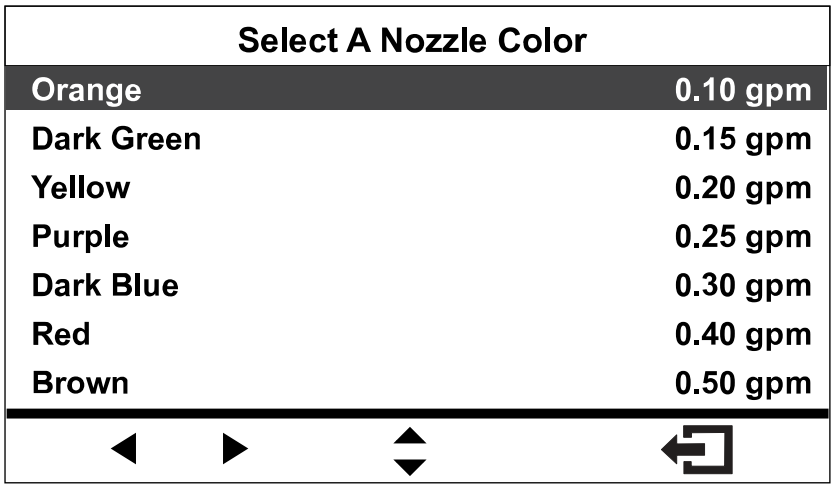
8. スロットルを高速位置に動かし、エンジンを10分間稼働させる。

重要

実測は、**油圧**システムが**通常**の**作動温度**になるのを**待**って**行う必要**があります。

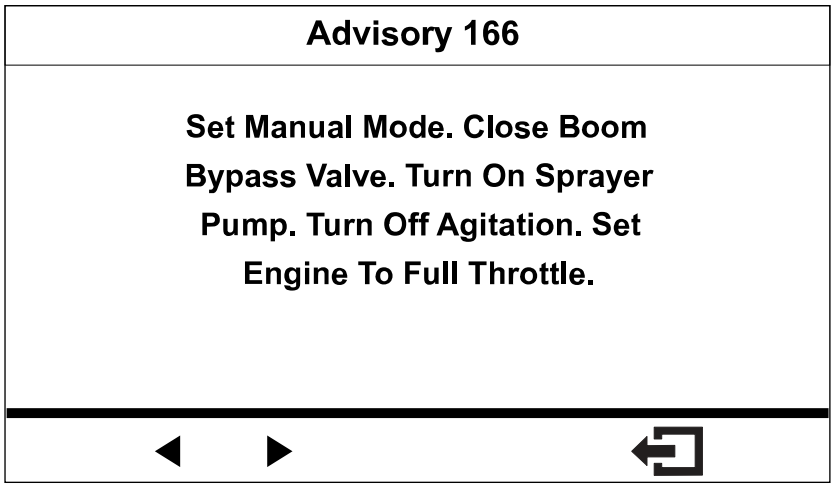
実測テストの準備

1. アクティブなスプレー位置に取り付けられたノズルを選択する。
   - 記載されている流量と一致するノズルの色を持つマシンの場合は、アクティブなスプレー位置に取り付けられた同色のノズルを選択する。
   - ノズルの色が、記載されている流量と 一致しない マシンの場合は、アクティブなスプレー位置に取り付けられたノズルの流量 (gpm または lpm) を選択する。



G580551

2. 次のステップに進む。
3. スプレーヤーモードスイッチをマニュアルの位置にセットする。



G580552

4. セクションバイパス遮断バルブのノブを閉位置まで回す。
5. 撹拌スイッチをオフの位置にして、スロットルを高速の位置に設定する。
6. 次のステップに進む。

実測テストのためのブームの準備

1. 以下の手順で個別ブームスイッチをセットする□

   注□ 流量試験の準備を参照してください。

   - **3** ブームキャリブレーションを行う場合は、左右のそれぞれのブームと中央のブームスイッチを ON にする。

   重要

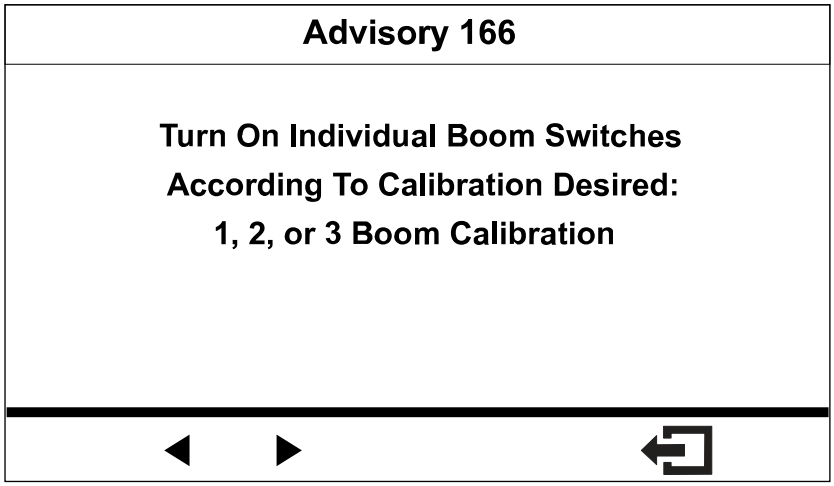
   このキャリブレーションは**必**ず**行う必要**があります。

   - 2スプレーヤーセクションのキャリブレーション用に以前に特定したスプレーヤーセクションの 2スプレーヤーセクションスイッチを選択する。

     注□ このキャリブレーションは任意であり、3 ブームキャリブレーションを行った後に行います。

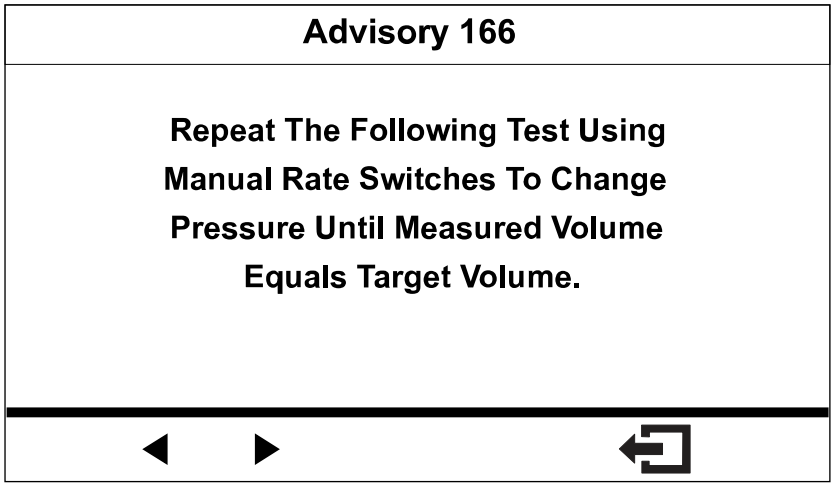
   - 1スプレーヤーセクションのキャリブレーション用に以前に特定したスプレーヤーセクションの 左、中央、または右のセクション スイッチを選択する。

     注□ このキャリブレーションは任意であり、3 ブームキャリブレーションと 2 ブームキャリブレーションを行った後に行います。



G580553

2. 次のステップに進む。
3. 「次のテストを繰り返す」画面で、ボタンを押してスプレーヤーキャッチテストセクションを開始する。



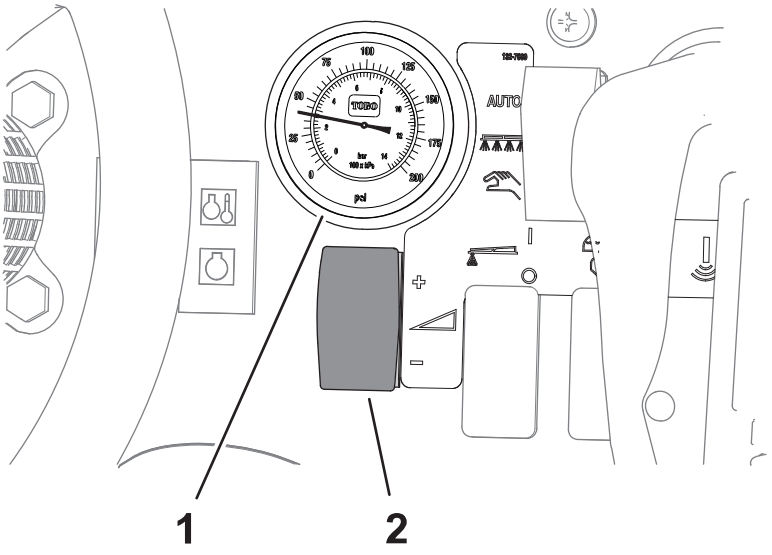
G580554

ブーム**流量実測**テストを**行う**

注□ 正確な目盛付きの容器を用意する。

1. マスターブームスイッチを ON にセットする。
2. 散布速度スイッチを使って、スプレーヤーシステムの圧力を約276 kPa (40 psi) に調整する。

モデル41394を示しています



G192699s

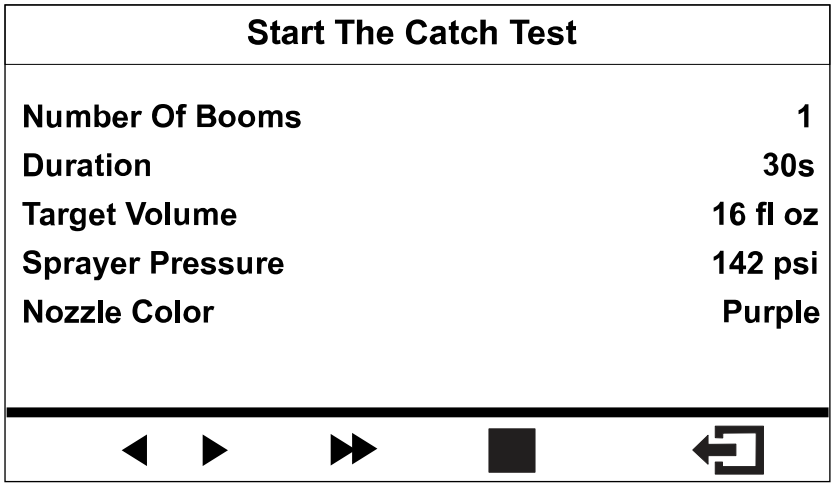
① 散布装置の水圧計

② 投下水量□レート□スイッチ

3. マスターブームスイッチを OFF にセットする。
4. キャッチテスト再生画面でブームの数、ノズルの色を確認し、ボタン3を押してキャッチテストを開始する。

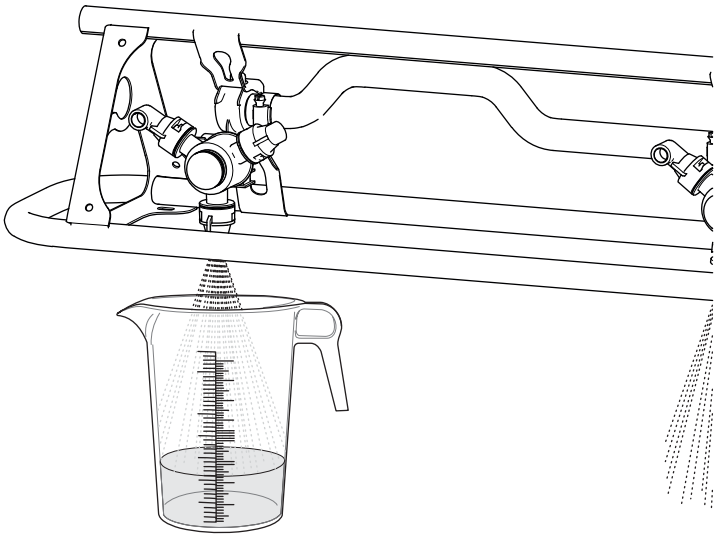
   注□ ボタンを押してから14 秒後に散布動作が始まるので、その間に車両後部へ行って容器を手に持ち、ノズルの下に当てるようにすればよいでしょう。

   注□ システムが自動的にブームバルブを開いて、選択したブームすべてから散布が行われ、所定時間後、システムが自動的に各バルブを閉じてテストが終了します。



G580555

5. スプレーヤーの流れが止まるまで、スプレーヤーノズルから出る水をキャッチする。



G193177

6. 目盛り付き容器を水平な面に置き、液体の量を記録する。

重要

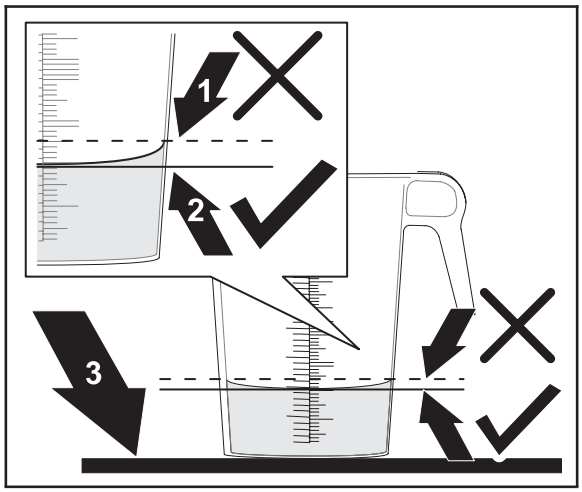
目盛付き容器で水量を測る時は必ず容器を水平な場所においてください。

重要

目盛付き容器で水量を読み取る時は、湾曲している水面の一番低い場所で読み取ってください。

重要

ちょっとした**目盛の読み取り誤差が、結果を大きく左右します。**



G193416s

① 湾曲している水面の一番高い位置□ここで読み取らないこと□

② 湾曲している水面の一番低い位置□ここで読み取ること□

③ 平らな床面

7. 目盛り付きキャッチコンテナ内の液体の容量と、ディスプレイ画面に表示される目標容量を比較する。

   注□ 目盛り付きキャッチコンテナ内の液体の容量は、ディスプレイ画面に表示される目標容量の± 7.4 mlである必要があります。

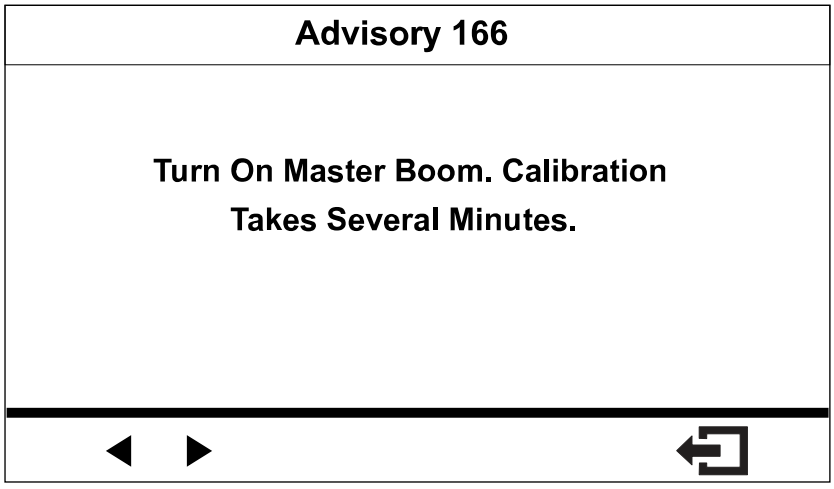
8. 目盛り付きキャッチコンテナ内の液面が目標量より7.4 ml多いか、7.4 ml少ない場合は、次のいずれかを実行する□

   - 目盛り付きキャッチコンテナ内の液体の容量が、ディスプレイ画面に表示される目標容量の± 7.4 mlである場合は、次の手順に進む。
   - 容器に入った水量が少なすぎる場合は、レートスイッチで少し水圧を上げて次のステップへ進む。
   - 容器に入った水量が多すぎる場合は、レートスイッチで少し水圧を下げて次のステップへ進む。

9. 目盛り付きキャッチコンテナ内の液体の容量が、ディスプレイ画面に表示される目標容量の± 7.4 mlになるまでこの手順を繰り返す。

キャリブレーション**計算**を**行う**

1. マスターブームスイッチを ON にセットする。



G580556

2. ボタンを押してキャリブレーション計算を開始する。

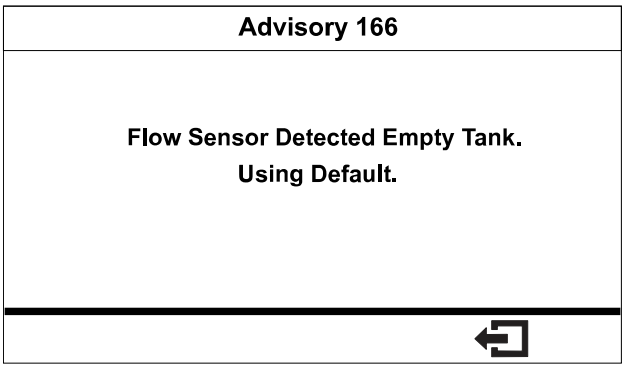
   注□ 画面は進行中のキャリブレーションを表示します。

   注□ マシンがキャリブレーション補正を計算している間に、スプレーヤーセクションは3分間散布を続けます。

3. キャリブレーションプロセスが終了すると、次のいずれかのメッセージが表示されます。

   - 流量のキャリブレーションが成功したことを確認するメッセージが表示されます。
   - 流量のキャリブレーションが失敗したことを示すメッセージが表示されます。

     キャリブレーション値が範囲外の場合は、認定サービス ディーラーに連絡し、それ以外の場合は、エラーメッセージを確認して、キャリブレーション手順を繰り返してください。



G580547

4. スロットルをアイドル位置に動かし、エンジンを停止して、イグニッション キーを取り外す。

2 ブームキャリブレーションを行う

3スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを完了した場合、ディスプレイに2スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを求めるメッセージが表示されます。

1. 2スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを実行する必要がない場合は、キャリブレーション画面に戻ります。
2. キャリブレーションを実行する必要がある場合は、キャッチテストのためにスプレーヤーを準備します。

   注□ スプレーヤーセクションのスイッチのみを、以前に特定したオンの位置に設定します。

1 ブームキャリブレーションを行う

3スプレ-ヤーセクションと2スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを完了した場合、ディスプレイに1スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを求めるメッセージが表示されます。

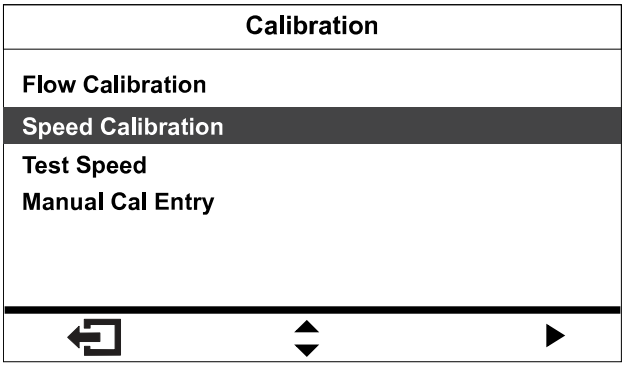
1. 1スプレ-ヤーセクションのキャリブレーションを実行する必要がない場合は、キャリブレーション画面に戻ります。
2. キャリブレーションを実行する必要がある場合は、キャッチテストのためにスプレーヤーを準備します。

   注□ スプレーヤーセクションのスイッチのみを、以前に特定したオンの位置に設定します。

速度の基本設定

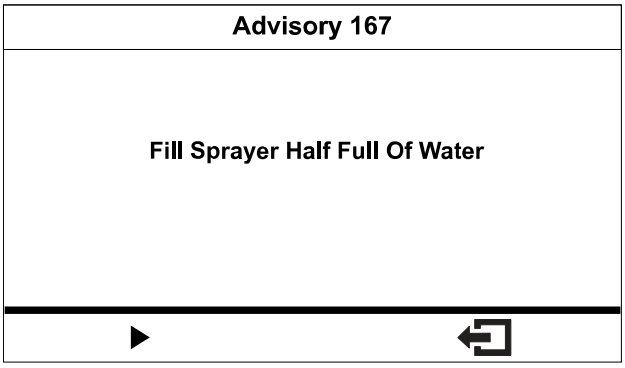
速度キャリブレーションの準備

1. キャリブレーションメニューから速度キャリブレーションを選択する。



G580563

2. スプレーヤータンクに水を半分□600 L□入れる。



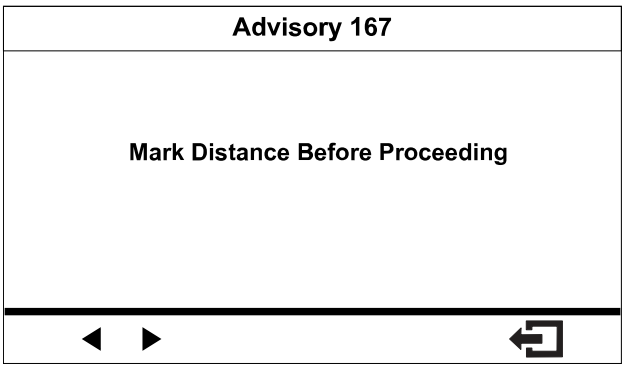
G580557

3. 芝生のテストエリアにスタートラインをマークする。
4. 測定用ホイールを使って、45□152 mの距離をマークし、測定した距離を以下に記録する。

   注□ この距離が 92 ~ 152 m であると、より良い結果を期待できます。

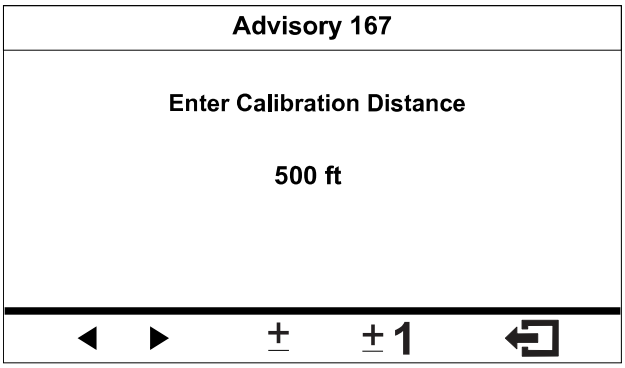
距離□

5. 芝生のテストエリアにエンドラインをマークする。



G580558

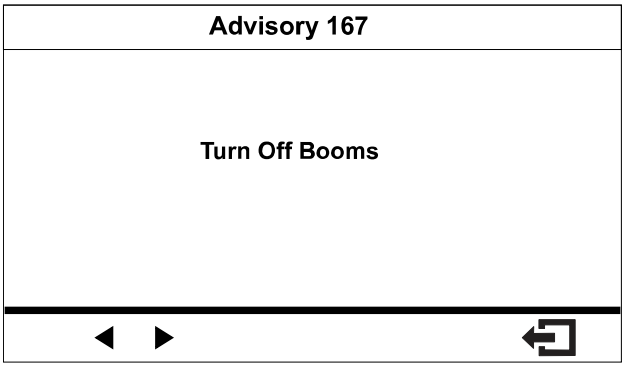
6. 入力した距離の値を変更するには、ディスプレイ上のボタンを使います。



G580559

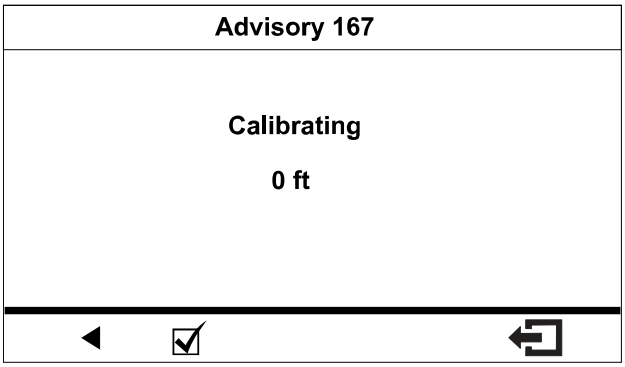
速度のキャリブレーションを行う

1. 車両の前輪をスタートラインに合わせる。
2. センターコンソールで、ブームバルブが3つとも OFF になっていることを確認する。



G580560

3. ディスプレイ上のナビゲーションボタンを押して始動し、ゴールラインまで運転する。



G580561

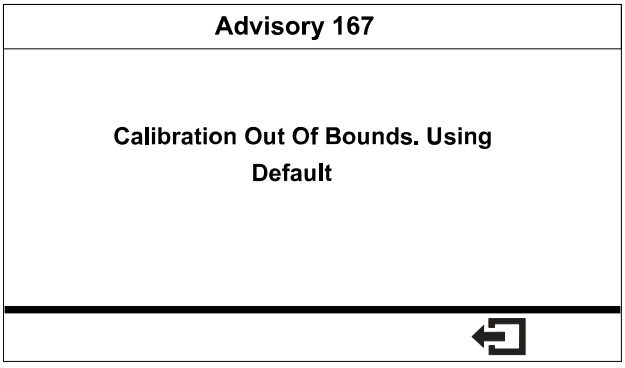
測定された距離の値は上昇するはずです。

4. マシンの前輪がフィニッシュラインに到達したら、ナビゲーションボタン押す。

注□ 実測値と入力値とが一致しない場合、散布システムのコンピュータは自動的に実測値を修正します。

5. キャリブレーションプロセスが終了すると、次のいずれかのメッセージが表示されます。
   - 流量のキャリブレーションが成功したことを確認するメッセージが表示されます。
   - 流量のキャリブレーションが失敗したことを示すメッセージが表示されます。

キャリブレーション値が範囲外の場合は、認定サービス ディーラーに連絡し、それ以外の場合は、エラーメッセージを確認して、キャリブレーション手順を繰り返してください。



G580562

6. スロットルを低速位置に動かし、エンジンを停止して、イグニッション キーを取り外す。

故障探究

アドバイス

運転操作が不完全な場合などに、インフォセンターの画面にアドバイスが表示されます。たとえば、走行ペダルを踏み込んだ状態でエンジンを始動させようとした場合には、走行ペダルをニュートラル 位置にしてくださいという表示が出ます。

アドバイスをクリアするには、画面上のいずれかのボタンを押します。

160	始動不能□ポンプスイッチがON
160	始動不能□ニュートラルでない
160	始動不能□未着席
160	始動不能□スタータの作動時間切れ
160	始動不能 - リンスポンプがオン
161	エンジン停止 - 未着席
161	エンジン停止 - 駐車ブレーキが作動
162	ポンプ始動不能□ブームがON
162	ポンプ始動不能 - オペレーターが未着席かパーキングブレーキが作動
162	ポンプ始動不能 - エンジンの始動を停止
162	ポンプ始動不能 - オペレーターが未着席
164	タンクステータス - タンク低容量アラート
164	タンクステータス - リンスポンプがオン
165	パラメータステータス - 無効なパラメータ値
165	パラメータステータス - 無効なパラメータ範囲値
168	ブームがオフ - 速度が低すぎ

整備不具合コード

以下は、マシンの作動中 Electronic Controller (TEC) が検知した電気系統の不具合の一覧です。

これらの不具合が表示された場合には、弊社正規代理店にご連絡ください。

コード	**記述称**
1	TEC が不良
2	TEC 出力ヒューズ□7.5 A□の不良□1本または複数□
3	主電源リレーまたは回路配線の不良
4	充電系統または回路配線の不良

コード	**記述称**
14	TEC がインフォセンターソフトウェアを認識できない
17	スタータの時間切れ□30 秒間作動させた□
18	トラクションペダルが地上速度と合致しない。
19	流量計からの信号がない

メモ□

メモ□


TORO®